



2021年10月29日

各位

会社名 ANAホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉  
 (コード番号 9202 東証第1部)  
 問合せ先 グループ総務部長 植野 素明  
 (TEL . 03-6735-1001)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年4月30日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,380,000	百万円 28,000	百万円 5,000	百万円 3,500	円 銭 7.44
今回修正予想(B)	1,060,000	△125,000	△140,000	△100,000	△212.61
増減額(B-A)	△320,000	△153,000	△145,000	△103,500	△220.05
増減率(%)	△23.2	-	-	-	-
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	728,683	△464,774	△451,355	△404,624	△1,082.04

#### 2. 修正の理由

連結業績予想につきましては、国際線貨物需要が好調に推移する一方で、変異株の流行等によりコロナ影響が長期化したため、当初の想定よりも旅客需要が大きく減少しました。足元では国内の新規感染者数の減少に伴い、国内線旅客需要に回復傾向が見られますが、需要の本格的な回復時期が遅れていることから売上高は3,200億円減少する見通しです。

運航関連の変動費の抑制に加えて、整備費・外部委託費等の固定費削減の深掘りを実行し1,670億円の営業費用削減に取り組んでまいりますが、売上高の減少の影響が大きく営業利益は1,530億円減少し、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても同様に大幅に減少することにより損失を計上する見通しです。

これらの結果、2022年3月期の連結業績予想につきまして上表の通り修正いたします。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以上